

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ~ +85℃ ^{(1) (2)}		保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃ ⁽³⁾
	使用湿度範囲	相対湿度90%以下 ^{(2) (4)}		保存湿度範囲	相対湿度70%以下 ^{(3) (4)}
	電 圧	DC/AC 300V			
	電 流	嵌合相手の定格電流による			
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗 [EIA-364-23]	100mAで測定する。	2mΩ以下 ※導体抵抗含む。 嵌合相手: IT-PA-2P-14H	○	○
	絶縁抵抗 [EIA-364-21]	DC500Vで測定する。	1000MΩ以上	○	—
	耐電圧 [EIA-364-20]	AC1000Vの電圧を1分間印加する。 (漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	総合挿抜力 [EIA-364-13]	適合コネクタで測定する。	1) 挿入力: 50N以下／ペア 2) 抜去力: 3N以上／ペア	○	—
	繰り返し動作 [EIA-364-09]	100回の抜き差しを行う。	1) 接触抵抗: 2mΩ以下 ※導体抵抗含む。 2) 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性 [EIA-364-28]	周波数50 ~ 2000 Hz, 加速度スペクトル密度 0.1g ² /Hz, 3軸方向各90分試験する。 ※試験サンプルは、コネクタ以外の支柱にて 上下の基板固定する	1) 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 2) 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性 [EIA-364-27]	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 3軸方向各3回 試験する。 ※試験サンプルは、コネクタ以外の支柱にて 上下の基板固定する。		○	—
環 境 的 性 能	熱衝撃 [EIA-364-32]	温度(℃) -55→20~35→85→20~35 時間(分) 30→ 5MAX →30→ 5MAX を10サイクル試験する。	1) 接触抵抗: 2mΩ以下 ※導体抵抗含む。 2) 絶縁抵抗: 100MΩ以上 3) 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温湿度サイクル [EIA-364-31]	温度25℃, 相対湿度80%: 60分 ↓ 30分 温度65℃, 相対湿度50%: 60分 を24サイクル試験する。		○	—
	耐熱性 [EIA-364-17]	温度105℃中に120時間放置する。	1) 接触抵抗: 2mΩ以下 ※導体抵抗含む。 2) 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	4種混合ガス [EIA-364-65]	温度30℃, 相対湿度70% Cl ₂ : 10ppb, NO ₂ : 200ppb, H ₂ S: 10ppb, SO ₂ : 100ppb 未嵌合放置7日間 → 嵌合放置7日間	1) 接触抵抗: 2mΩ以下 ※導体抵抗含む。 △	○	—
	リフロー耐熱 [IPC/JEDEC STD-020]	前処理: 温度60℃, 相対湿度60%中に120時間放置 する。リフローピーク温度: 260℃	外観の変形及び端子などに著しいガタの ないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△	1	DIS-F-00000058	NY. SHIMURA	TS. OSHIDA	15. 01. 30
備考 注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. 使用湿度が80%を超える場合の使用温度範囲は-55~+55℃とします。 注3. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。 注4. 但し、結露しないこと。			承認	MK. EZAKI	14. 11. 21
			検 図	TS. OSHIDA	14. 11. 21
			担 当	NY. SHIMURA	14. 11. 20
			製 図	NY. SHIMURA	14. 11. 20
試験規格の記載のない試験方法は 'JIS C 5402 (IEC-60512)' を適用している。					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-355732-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	IT-PA-2S-DIRL	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL636-0614-1-00	△ 1/1